

RE衣食住を考えよう

第2回

# 高浜町 ライフスタイルデザイン会議 ニュース

令和4年5月24日（火）、第2回高浜町ライフスタイルデザイン会議を開催しました。町内21名、関係人口7名、合計28名（男性11名、女性17名）の参加者が集まり、ゲストの話聞きながら、第1回目で提案された取り組んでいきたい6つのテーマごとに分かれ、意見交換を行いました。

<ゲスト>



石川淳哉さん

ソーシャル・グッド・プロデューサー。  
『世界がもし100人の村だったら』、雑誌『FRaUSDGs』などをプロデュース。  
高浜町ソーシャルグッドアンバサダー。



島田由香さん

Team WAAI主催。株式会社YeeY共同創業者/代表取締役。働き方制度WAAI (Work from Anywhere and Anytime) の発起人。全国で真のワーケーションを伝える伝道師。高浜町ワーケーションアンバサダー。



吉弘拓生さん

内閣官房地域活性化伝道師。総務省地域力創造アドバイザー。内閣府企業版ふるさと納税マッチング・アドバイザー。地域活性化センター新事業企画室長。

## ◎第1回目で提案された 取り組んでいきたい6つのテーマ

- ①未来の高浜の産業（特に女性が主役になる視点が大切）
- ②20年後、30年後の共通のビジョンづくり
- ③どんな人に移住してほしい
- ④ネガティブは宝！社会課題を抽出する
- ⑤高浜人研究所
- ⑥コレクティブインパクトの場を継続する



## ◎石川淳哉さんのお話

- ・気候変動から気候危機へ
- ・ESG投資、1京円の動きが止まらない
- ・ふるさと納税6800億円寄附増加
- ・クラウドファンディング、シェアリングエコノミーが当たり前
- ・循環型経済、エシカル消費、オフグリッド
- ・コロナ禍、心と体の健康がテーマに
- ・みんなで協力しあうコレクティブインパクト
- ・ポジティブ層とネガティブ層の間の層をどう巻き込めるかが勝負
- ・解像度を高く、知行合一（知識と行為は一体だということ）を意識していこう

## ◎島田由香さんのお話

- ・ライフスタイルデザイン会議は、どんな人生を送りたいのか。どこで送りたいのか。誰と送りたいのか。自分たちで決めていく。みんなで考えていくための会議、場だと思います。
- ・今日の会議が終わった後、具体的な行動に移していく気持ちが高まっているとイイ。
- ・行政の方、住民の方、そしてよそ者が関わっている場があることはとても大切なこと。
- ・高浜が好き。私たちは未来しかつukれない。それは、今私たちがどんな選択をするのかによって大きく違う。その選択をするときに仲間がいる。私たちも一緒に関わっていきます。

## ◎主な意見

- ・ エシカルブランド、新しい海水浴、サスティナブルな町、多くの人とつながりたい
- ・ 子育てしやすい町。新米ママが活動できる。インフラ整備 ※おむつ交換しやすい所
- ・ 高校でのSDGsの知名度高→活動をしていくべき
- ・ 空き家活用、多様性、Well-beingを知ってる学生が少ない→広めていきたい
- ・ ワークेशन、サブスク移住
- ・ 旅行商品づくり、高浜スタイルのMaaS
- ・ 廃炉の事実を伝える、20年後30年後を考えたお金の使い方
- ・ why?産業構造 ライフスタイル 考えている?
- ・ 若い世代の住民に危機意識を持ってもらう
- ・ 町内でのプチ移住体験
- ・ 多分野、多世代、地元UIターンがディスカッションできる場
- ・ この会にもっと若者が参加してほしい
- ・ みんなでモノ・コト・情報をシェアする
- ・ 海ごみを宝物に、人と地球にやさしいをスタンダードに
- ・ 「ない」を「ある」に 何もないって本当?ないなら作ればいい
- ・ 子ども達の未来を考えて行動をおこす
- ・ 自己紹介が面白い。それぞれの人生、思いがもっと聞きたい (高浜人研究所)



発行日：2022年6月  
 発行：高浜町総合政策課  
 問い合わせ：電話 0770-72-7711  
 メール [seisaku@town.takahama.fukui.jp](mailto:seisaku@town.takahama.fukui.jp)